



沖縄県地球温暖化防止活動推進員 NEWSLETTER

脱炭素社会の実現に向け、県内各地で活動展開中！

沖縄県地球温暖化防止活動推進員の2022年度の主な活動を抜粋して御紹介します。
推進員に出前講座等をお願いしたい場合には、沖縄県地球温暖化防止活動推進センターまで御連絡ください（連絡先は裏面のお問合せ先を御確認ください。）！



活動事例 1

地球温暖化対策×フードマイレージ

推進員：宮城 弘子さん

開催日：令和5年8月20日（土）



南風原町文化センターにて、おきなわ環境教育プログラム集（社会教育編）の「チラシ探偵団」を活用して、何気なく購入している食品がどこから運ばれているのかを学ぶ講座を開催しました。家庭からの食品ロスの現状を説明し、食料自給率と輸入食品からみえるエネルギー消費や食品ロスの問題から、南風原町のごみの現状など身近な問題に触れ、食品ロスを出さないアイデアや地産地消が地球温暖化対策にもつながることを伝えました。



活動事例 2

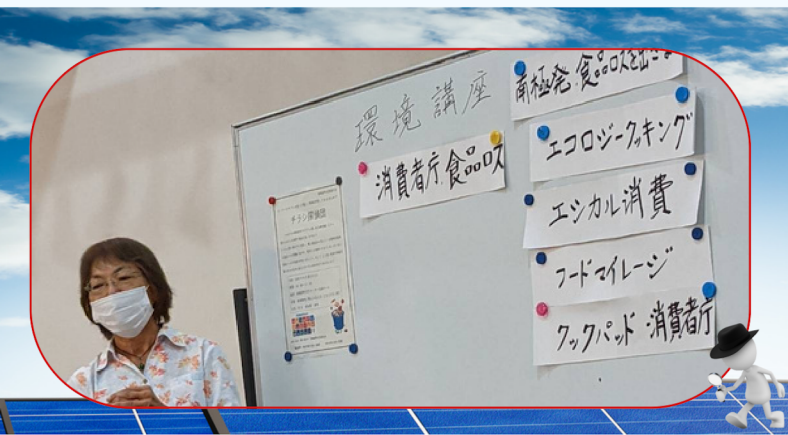
地球温暖化対策×海ごみ

推進員：春川 淳さん

開催日：令和4年7月4日（月）、6日（水）

宮古島市立平良第一小学校の5年生92名と、北小学校の5年生44名向けに、海ごみワークショップを開催しました。

児童たちの「海ごみについて知りたいこと」についての解説や、アクティビティ体験をしました。ごみの量は？どこから来る？どのように処理される？生き物への影響は？といった質問が多く、ごみ問題は地球温暖化とも関係している、という意見もありました。体験を通してごみ問題を自分事としてとらえ、行動してくれることが期待できます。





活動事例 3

地球温暖化対策×省エネ



推進員：高柳 圭吾さん 平良 栄康さん
上江洲 安邦さん

開催日：令和4年12月～令和5年1月

宜野湾市内の小学校3校にて、「手回し発電器」、「自転車発電」、「エネルギーのかばん」、「エコチャレンジカードゲーム」を用いた体験型の講座を開催しました。「自転車発電」で身近にある電気を発電する大変さを体感した上で、白熱電球とLED電球を付け比べる体験を通じて、どんな製品を選ぶかで地球温暖化対策に寄与できることを学びました。体験を通じて学習した子ども達が、脱炭素社会実現の観点から製品を選ぶようになることが期待できます。



「脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動」について

脱炭素社会を目指すことは、実は豊かな暮らしの実現にもつながります。例えば日本はエネルギーの大部分を海外から輸入しています。もし、再生可能エネルギーを中心とした社会が実現できれば、これまで海外に出ていたお金が国内で循環することになり、大きな経済効果を生みます。沖縄県地球温暖化防止活動推進センターでは、脱炭素社会を目指すことで豊かな暮らしを生む事例を今後、紹介していきます。



活動事例 4

地球温暖化対策×リサイクル

推進員：幸地 祐朔さん

開催日：令和4年8月17日（水）

読谷村の子育て応援講座にて、「リサイクル容器を用いたごみ減量の取組」をテーマに講話しました。所属する大学において、簡単にリサイクルできるフィルム付き使い捨て容器「リ・リパック」を活用したごみ削減の取組と寄付活動を通じた社会貢献を紹介し、「リ・リパック」を実演してみせました。多くの参加者から「生活の中でどんなことが出来るか、考えるきっかけになった」「家でごみを減らす事から取り組んでいきたい」とアンケートの回答があり、ライフスタイルの変容が期待できます。



その他の推進員の活動紹介

商工会会員等へのオンラインによる講演会、観光業者へのエコツーリズムに関する研修など、事業者を対象にした活動も行われています。脱炭素社会のため「何をしたらよいかわからない」とお悩みの事業者の方は、センターまでお問い合わせ下さい。

